

科目名	デザイン実習1 [プロダクト] (卒業必修)			
授業形態	実習	学年	1	
開講時期	2021年度 後期	単位数	2	
担当教員	沈 得正			
内容および計画	デザイン実習Iでは、シード状の材料、粘土を用いてデザイン制作を実施する。材料が指定された場合でのデザイン方法について体得することを目的とする。具体的には、下記に示した2つの課題に対して、デザインコンセプトを設定したうえで、デザイン制作を行う。それを通して、材料の形状なの特徴と加工方法の違いについて体得する。また、課題2では型の基礎知識を習得し、製品の量産プロセスを理解する。			
1	課題1：シード状の材料による入れ物のデザイナーガイダンス&調査			
2	調査&コンセプトの検討			
3	コンセプト検討&造形検討(スケッチ&試作)			
4	コンセプト検討&造形検討(スケッチ&試作)			
5	モデル制作			
6	モデル制作、成果物の撮影&説明カードづくり			
7	講評会&課題2のガイダンス：陶器製テーブルウェアのデザイン			
8	調査&コンセプトの検討			
9	コンセプト検討&造形検討(スケッチ&3Dソフト)			
10	コンセプト検討&造形検討(スケッチ&3Dソフト)			
11	3Dプリンターでの出力による造形検討&石膏ブロックの制作			
12	3Dプリンターでの出力による造形検討&石膏ブロックの制作			
13	モデリングマシンによる石膏型の制作			
14	粘土を石膏型にかぶせて成形する			
15	成形した原型の仕上げ&窯で焼成する			
教科書				
	タイトル	著者名	出版社	ISBN
適宜に資料配布				
	参考書			
成績評価				
	評価方法			割合(%)
	課題の取り組み態度			20
	提出課題(作品の完成度、プレゼンテーションなど)			80
①実際に手を動かしながら作業することを重視する ②欠席(-5点)、遅刻(-2点)、早退(-2点)は、減点します。5回以上の欠席は不合格とします。問題のある授業態度(居眠り等)は、減点の対象とします。				
	学習到達目標	下記に関する基本的な知識を身につけることができる。 ①シード状の材料を用いた製品の作り方		

	②体状の材料を用いた製品の作り方 ③型による製品の作り方
先修条件	
実務経験	
その他	